



コツェプー著『南太平洋及びベーリング海峡への探検旅行』（初版 1821年刊）

## 口絵の解説

### **Otto von Kotzebue; Entdeckungs-Reise in die Süd-See und nach der Bering-Straße zur Erforschung einer nordöstlichen Durchfahrt, 1821.**

著名な航海家オットー・フォン・コツェブー（1787-1846）が、1815～18年リュウリク号を指揮し、ベーリング海、北東航路を探検ののち、ホーン岬を経てチリ、イースター島、ハワイ、カリフォルニア等アメリカ北西岸を周航。また、ミクロネシア、マーシャル諸島等オセアニアなど南太平洋を探検した。本書はそのロシアによる第2次太平洋学術調査航海の記録。1821年Weimar刊、初版。27cm。全3巻を1冊に合本しており刊行当時のままの革装。

口絵の写真は、画家Louis Chorisによる風景画、第1巻のタイトルページの前に付された肖像画。および、同行した動物学者J.F.Eschscholtzによる蝶のカラー図版（11枚のうちの1枚）。ほかに、風景画3枚、肖像画3枚、地図6枚や図表など全26枚の銅版画が収められている。